

第3学年 図画工作科学習指導案

展開場所 松林、第3グラウンド

1 題材名 小さくなって発見!~ちょっと自慢の自分だけの場所~(造形遊び)

2 題材について

本題材「小さくなって発見!~ちょっと自慢の私だけの場所~」は、小さくなった自分の視点から見ておもしろいと感じた場所を自然物を使って「ちょっと自慢の場所」につくりかえていく活動を通して、身近な場所を見つめ直し新たな楽しさを生み出す力を育てる活動である。本題材では本校の「ちょっと自慢のこてはし台」という歌の歌詞の一部分「校庭2つに松林」を使って活動していく。普段利用している場所ではあるが、見落としがちな場所が多々あるだろう。個々のお気に入りを探して「ちょっと自慢の自分だけの場所」につくり変えることで、新たな発見を促したり、愛校心を育てたりしていきたい。

学習指導要領では、第3学年及び第4学年の目標として、(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」と示されている。この目標を受けて、内容A表現(1)ア「造形遊びをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考えること。」とある。本題材はこれらの目標と内容を受けて設定したものである。

本題材では、教師が示した写真がどこで撮られたのかについて 2、3問クイズを出し、児童の意欲を高める。外で撮ったことは、分かると思うので、実際にどこなのかを探す活動と同時に、松林と第3グラウンドで自分のお気に入りの場所も探す。その際にお気に入りの場所で何をしたいか、どんな場所につくり変えたいかイメージさせる。その後自分の写真を撮る際には、様々なポーズが出ると予想されるので、児童の想いを尊重し数種類の写真を撮っていききたい。制作の段階では、本校の自然を生かしたいという思いから、お気に入りの場所の近くにある枝や石、草、花、石などを中心に扱い、そのままの自然を生かし、草や枝の形を変えたり、付け足したりすることで「ちょっと自慢の場所」に変えて、前時に撮った自分の写真を置いていく。写真は正面からだけでなく、様々な角度で撮影し、構図を変えたことによって受ける印象の違いを感じさせたい。また、自然物を扱うという経験や造形遊びの経験が少ないので、自分たちの身近にある自然のすばらしさやそれらを使って遊ぶことの楽しさを味わわせたい。本題材で自然物に触れる機会を与え、児童に自然の美しさやすばらしさを感じる機会にしたいとも考える。鑑賞会の際は、友達作品のおもしろさやよさに気付かせていきたい。また、ギガタブを用いて全校の児童に見せられるようにしたり、ギガタブ内で交流している他校の友達に見せたりして、図画工作と情報教育の意欲の向上に繋がりたいと思う。

3 題材の目標

- (1) お気に入りの場所につくりかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどに気付く。
- (2) 場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに組み合わせたり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくる。
- (3) 場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかについて考える。
- (4) 自分たちがつくり変えた場所の造形的なよさやおもしろさ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて

て、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げる。

(5) 進んで場所の形や色などを生かしてお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○お気に入りの場所につくりかえるときの感覚や行為を通して、形の感じ、それらの組み合わせによる感じなどに気付いている。</p> <p>○場所にある材料、身の回りの材料などを適切に扱うとともに組み合わせたり、形を変えたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。</p>	<p>○場所や場所にある材料を基に造形的な活動を思い付き、新しい形や色などを考えながら、どのように活動するかについて考えている。</p> <p>○自分たちがつくり変えた場所の造形的なよさやおもしろさ、造形的な活動、いろいろなつくり方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。</p>	<p>○進んで場所の形や色などを生かしてお気に入りの場所につくりかえる学習活動に取り組み、作り出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとしている。</p>

5 指導と評価の計画(4 時間扱い)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価の方法等				備考	
		知 技		思			態
		知識	技能	発想や構想	鑑賞		
1	<p>○小さくなった自分を想像して第3グラウンドか松林で自分が気に入った場所を探す。</p> <p>○「ちょっと自慢の場所」をギガタブを使って写真に撮り、どんな場面か想像する。</p>			◎ 観察 対話		○	1 時間目は「思考・判断・表現」と関連付けて「主体的に学習に取り組む態度」の視点で児童の学習状況を把握し、指導に生かす。
2	<p>○前時の活動を思い出したり、写真を見たりしてどんな場面に自分がいるか想像して自分の写真を撮る。</p>			◎ 観察 対話 写真		○	2 時間目は「思考・判断・表現」の視点で児童の学習状況を把握し、ギガタブを使って記録する。
3 (本時)	<p>○自然物を使って「ちょっと自慢の場所」をつくる。</p> <p>○小さくなった自分を、つくった場所に置いてギガタブで写真を撮って「ちょ</p>	◎ 観察 対話	◎ 観察 対話 写真	○			3 時間目は「知識・技能」の視点で児童の学習状況を把握する。

	っと自慢の「一枚」をつくる。						
4	○ギガタブ内の鑑賞カードを使って「ちょっと自慢の場所」を伝え合う。				◎ 写真 ワーク シート 対話	○	4 時間目は「思考・判断・表現」で学習状況を把握する。鑑賞の活動では、ギガタブ内のワークシートを使って記録をする。

6 材料と用具

材料	用具
ラミネートをかけた自分の写真、木、枝、葉、花、石	ギガタブ

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○形の感じ、色の感じやそれらの組み合わせによる感じを手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫することができる。(知識・技能)

○形の感じ、色の感じなどを基に自分のイメージをもちながらどのように活動するかについて考えることができる。(思考・判断・表現)

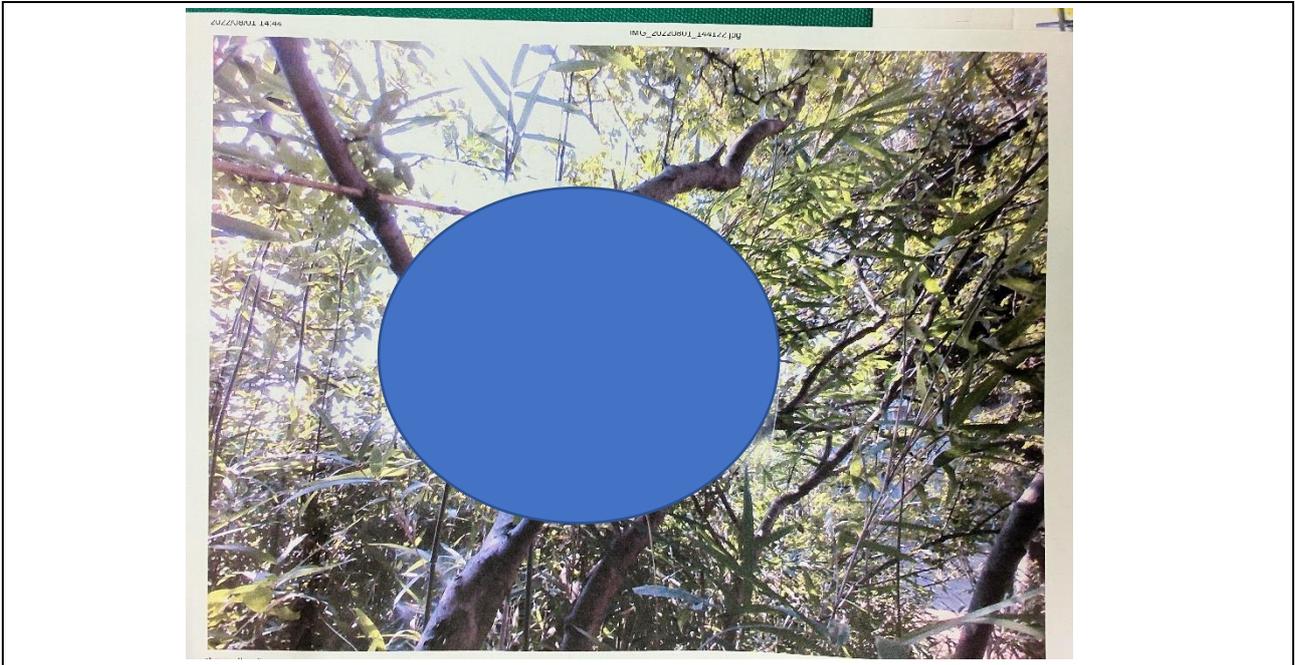
(2) 展開(3/4)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
1 今までの活動を振り返り、本時の見通しをもつ。 ・好きな場所を決めたよ。 ・好きなポーズを撮ったよ。 ・どんな物につくり変えるかイメージできたよ。 ・○○しているところを表したいな。 ・○○に見えるように自分の写真を撮ったよ。 2 本時のめあてをつかむ。	○楽しかったことを想起させるために自由に発言させ、イメージをふくらませる。 ○自分のイメージを全体に伝え、本時の意欲を高め、友達の作品への興味を引き出す。	学習過程を振り返る掲示物 自分の写真
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 「ちょっと自まんの自分だけの場所」をつかって友達に伝えよう。 </div>		
3 自然物を使ってちょっと自慢の場所をつくる。 ・活動の約束 第3グラウンドと松林のみ 〈使ってよい物〉 葉、木、枝、花、石 〈使えない物〉 土管、コンクリート、柵	○活動の約束を確認する。 ○第3グラウンド、松林で活動させる。 ○使ってよい物は、葉、木、枝、花、石であると確認する。 ○上記以外の物に関しては教師に確認するように伝える。 ○使えない物は土管、コンクリート、柵であることを伝える。	ギガタブ

<p>材料は元に戻す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぶら下がっている場面をつくったよ。 ・大きな屋根をつくったよ。 ・橋をつくったよ。 ・飛び降りている場面だよ。 ・友達の作品も素敵だね。 <p>4 ギガタブで「ちょっと自慢の場所」の写真を撮ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正面から写真を撮ってみよう。 ・横から写真を撮ってみよう。 ・撮る向きを変えると印象が変わってくるね。 <p>5 グループの友達の写真を見合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇場所がちょっと自慢だよ。 ・何をしているところかな。 ・こんなことをしているよ。 ・〇枚目の写真が素敵だね。 <p>・次の時間に場面を説明するよ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○使った材料は元に戻すことを伝える。 ○自分の思いを優先するように助言する。 ○活動が進まない児童には教師と一緒に考えてアドバイスをする。 ○友達の作品も参考にしてもよいということを伝える。 ○自分の写真を数枚撮り、自分のイメージに合っているか確認させ、1枚を選ばせる。 ◆形の感じ、色の感じやそれらの組み合わせによる感じを手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫することができる。(知識・技能) ◆形の感じ、色の感じなどを基に自分のイメージをもちながらどのように活動するかについて考えることができる。(思考・判断・表現) ○正面からだけでなく上下左右様々な角度から写真を撮るように伝え、構図の違いによる感じ方やおもしろさを味わえるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ○写真の説明をするのではなく、まずは見せるだけにさせ、友達が感じ取った印象を気付かせる。 ○何をしているところか予想させる。 ○感じとった印象は伝えてよいこととする。 <p>○次時の予告をする。</p>	
--	--	--

小さくなって発見!~ちょっと自まんの自分だけの場所~

名前 ()



題名

自由への旅

ちょっと自まんの場所の説明（この場所にした理由）

鉄棒の後ろから第3グラウンドに入る草やぶが僕のちょっと自慢の場所です。ここを選んだ理由は木がYの字になっているところが気に入ったからです。また、太陽の光が差し込んでくる場所でもあったので気に入りました。

何をしているところかな？どんな自分かな？

木と木に枝を1本引っかけたスライダーのようにしました。混沌とした時代の中で暮らす自分に終止符を打つべく「自由への旅に出発だ!!」と意気込んで滑って行く様子を表しました。